

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場会社名 日本ユピカ株式会社
 コード番号 7891 URL <http://www.u-pica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 荻野 富弘
 (氏名) 馬場 賢尚

TEL 03-6850-0261

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	8,663	12.2	237	△18.7	221	△23.7	104	△41.6
22年3月期第3四半期	7,722	△23.4	292	80.4	290	86.4	179	84.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	19.06	—
22年3月期第3四半期	32.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	12,101	6,828	54.2	1,193.41
22年3月期	11,309	6,709	57.6	1,184.78

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 6,560百万円 22年3月期 6,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	9.7	320	△28.1	280	△35.8	140	△48.9	25.47

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	5,500,000株	22年3月期	5,500,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	2,737株	22年3月期	1,758株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	5,497,698株	22年3月期3Q	5,498,242株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期連結累計期間における我が国経済は、新興国の経済成長や政府の景気刺激策の効果等により、企業業績は緩やかな回復傾向にある一方で、長引く円高や、雇用情勢の低迷等により、先行き不透明な状況で推移しております。当社グループの関連する樹脂業界におきましては、住宅着工件数や設備投資の緩やかな回復により、住宅・建材用途は回復傾向にありますが、公共工事の減少等により、工業資材用途は減少傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは、住宅関連用途、建設資材用途、自動車関連用途、電器部品用途、電子・光学用途は堅調に推移いたしましたが、工業資材用途は低迷いたしました。全般として、出荷量は前年同期比で増加となりましたが、原燃料費の価格上昇を吸収することが出来ず、経常利益は前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高86億63百万円(前年同期比12.2%増)、経常利益221百万円(前年同期比23.7%減)、四半期純利益104百万円(前年同期比41.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産では、現金及び預金の減少19百万円、受取手形及び売掛金の増加8億87百万円、たな卸資産の減少19百万円等があり、また固定資産は1億19百万円減少となり、総資産は前連結会計年度末と比較して7億91百万円増加の121億1百万円となりました。流動負債では支払手形及び買掛金の増加6億52百万円、短期借入金の増加1億32百万円、未払法人税の減少1億66百万円等があり、負債合計は前連結会計年度末と比較して6億72百万円増加し、52億72百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末と比較して1億18百万円の増加となり、68億28百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益1億75百万円の計上に対し、減価償却費2億22百万円、売上債権9億3百万円の増加、仕入債務6億58百万円の増加、法人税の支払3億12百万円等により1億63百万円の減少となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得1億21百万円等により1億22百万円の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の増加1億65百万円、配当金の支払38百万円、少数株主からの払込1億52百万円等により2億74百万円の増加となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ19百万円の減少となり、23億48百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想につきましては、前回発表（平成22年11月5日発表の「平成23年3月期 第2四半期決算短信」）から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等の算定方法

法人税等は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

③ 繰延税金資産の回収可能性

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ794千円減少、税金等調整前四半期純利益は41,428千円減少いたしました。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,848,959	1,868,569
受取手形及び売掛金	4,686,556	3,799,259
商品及び製品	725,015	731,240
仕掛品	49,097	56,050
原材料及び貯蔵品	405,497	412,284
その他	714,260	650,917
貸倒引当金	△1,821	△1,856
流動資産合計	8,427,564	7,516,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	795,619	830,732
機械装置及び運搬具(純額)	911,899	959,127
土地	1,340,442	1,340,442
その他(純額)	84,805	112,602
有形固定資産合計	3,132,766	3,242,905
無形固定資産	11,986	14,446
投資その他の資産		
その他	528,910	535,765
貸倒引当金	△200	△200
投資その他の資産合計	528,710	535,565
固定資産合計	3,673,463	3,792,916
資産合計	12,101,027	11,309,381
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,594,098	2,941,608
短期借入金	482,782	350,480
未払法人税等	15,280	181,583
引当金	37,188	72,312
その他	251,076	229,360
流動負債合計	4,380,427	3,775,344
固定負債		
退職給付引当金	459,490	420,239
役員退職慰労引当金	55,752	48,370
再評価に係る繰延税金負債	312,532	312,532
資産除去債務	23,401	—
その他	40,622	42,956
固定負債合計	891,799	824,098
負債合計	5,272,227	4,599,443

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,900	1,100,900
資本剰余金	889,640	889,640
利益剰余金	4,147,402	4,081,108
自己株式	△1,208	△905
株主資本合計	6,136,734	6,070,742
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,891	19,864
土地再評価差額金	468,798	468,798
為替換算調整勘定	△62,961	△45,175
評価・換算差額等合計	423,729	443,487
少数株主持分	268,336	195,707
純資産合計	6,828,800	6,709,937
負債純資産合計	12,101,027	11,309,381

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	7,722,814	8,663,557
売上原価	6,312,593	7,220,560
売上総利益	1,410,220	1,442,996
販売費及び一般管理費		
運搬費	355,700	385,478
その他	762,359	819,901
販売費及び一般管理費合計	1,118,059	1,205,380
営業利益	292,161	237,616
営業外収益		
受取利息	3,322	2,684
受取配当金	11,942	9,456
その他	4,859	3,225
営業外収益合計	20,124	15,366
営業外費用		
支払利息	6,034	13,983
売上割引	6,302	5,806
その他	9,714	11,652
営業外費用合計	22,051	31,442
経常利益	290,234	221,540
特別損失		
固定資産廃棄損	1,462	—
固定資産除却損	—	4,465
固定資産売却損	—	1,189
投資有価証券評価損	1,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	40,634
特別損失合計	2,462	46,289
税金等調整前四半期純利益	287,771	175,251
法人税等	175,326	132,804
少数株主損益調整前四半期純利益	—	42,447
少数株主損失(△)	△67,103	△62,334
四半期純利益	179,548	104,781

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	287,771	175,251
減価償却費	205,537	222,213
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	40,634
売上債権の増減額(△は増加)	△1,002,929	△903,595
たな卸資産の増減額(△は増加)	114,546	11,914
仕入債務の増減額(△は減少)	807,072	658,666
その他	△174,373	△54,797
小計	237,625	150,286
利息及び配当金の受取額	15,265	12,141
利息の支払額	△6,034	△13,983
法人税等の支払額	△67,644	△312,260
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,211	△163,815
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△116,400	△121,820
その他	△1,066	△283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,466	△122,103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	151,338	165,112
リース債務の返済による支出	△4,065	△4,065
自己株式の取得による支出	—	△302
配当金の支払額	△38,487	△38,308
少数株主からの払込みによる収入	—	152,051
財務活動によるキャッシュ・フロー	108,784	274,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	△384	△8,178
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	170,145	△19,610
現金及び現金同等物の期首残高	2,018,446	2,368,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,188,592	2,348,959

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）
該当事項はありません。